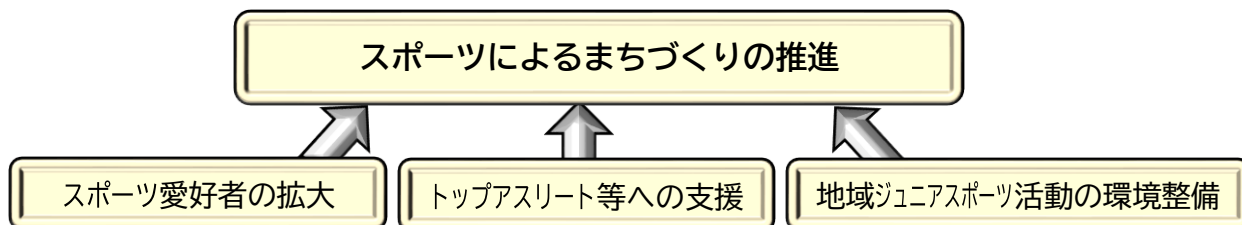
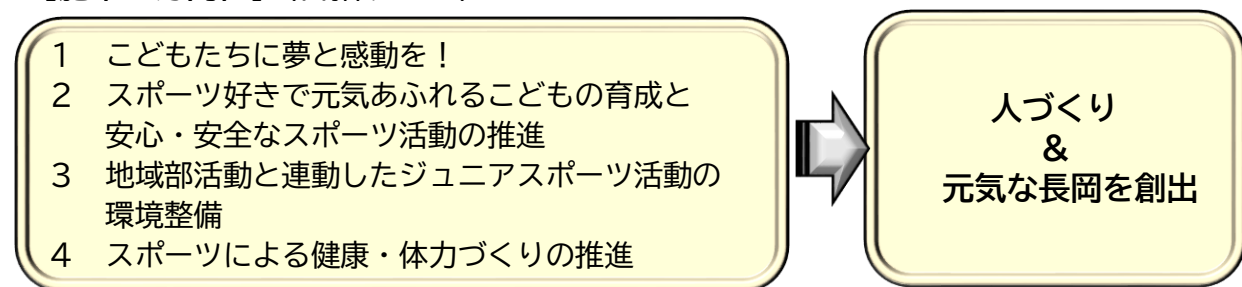


令和3年度 公益財団法人長岡市スポーツ協会 事業計画

【基本目標】（スローガン）



【施策の方向性】（目指すもの）



【重点事項】

- 1 オリンピック・パラリンピックをはじめとして、世界で活躍する長岡ゆかりのトップアスリート（日本代表選手や中央競技団体強化指定選手）への活動支援及び全国で活躍するジュニア選手の育成強化を図る。
- 2 学校や地域と連携して、運動やスポーツが好きで元気あふれるこどもたちを育てるとともに、安心・安全にスポーツ活動が行える環境づくりを推進する。
- 3 長岡市スポーツ推進条例の理念のもと、こどもから高齢者までの誰もが身近に運動やスポーツに親しめる環境づくりと、健康・体力づくりを推進する。

I 公益目的事業

（ ）は前年度予算額

1 競技力の向上 **24,250千円 (27,425千円)**

※長岡市委託料 **8,585** 千円、長岡市補助金 **6,670** 千円、長岡市民スポーツ応援団 **2,000** 千円

(1) 長岡ゆかりのトップアスリートへの活動支援 **5,000千円 (6,100千円)**

長岡市民スポーツ応援団と連携し、長岡ゆかりのトップアスリート（日本代表選手や中央競技団体強化指定選手）への活動支援を行う。

ア 2020 東京オリンピック・パラリンピックへの出場の可能性が極めて高い選手への活動支援
長谷川徳海（ビーチバレーボール）、佐藤 凌（陸上走高跳）

イ 2022 北京冬季オリンピック・パラリンピックへの出場の可能性が極めて高い選手への活動支援
星野純子（フリースタイル・モーグル）
古野哲也・古野 慧（フリースタイル・スキークロス）

ウ 次世代を担う有望選手への活動支援

内藤祐希（テニス）、松田将太郎（パラ陸上）、曾我啓菜（バレーボール）
晴山 岬・谷内田哲平（サッカー） ほか

エ 長岡市民スポーツ応援団組織の再構築

長岡ゆかりのトップアスリートへの活動支援等を目的に設立された“長岡市民スポーツ応援団”（市民、民間企業、各種団体及び関係競技団体等で構成、平成29年11月設立）について、持続可能な組織への転換を進めるとともに、次世代有望選手への活動支援や激励応援体制を維持する。

（2）ジュニア選手の育成強化支援 **18,250千円（19,825千円）**

全国で活躍するジュニア選手の育成強化支援を行う。

ア 指定種目強化事業（7種目） **※長岡市受託事業（スポーツ振興課）**

1 水泳（競泳） 2 水泳（飛込） 3 サッカー 4 テニス 5 陸上 6 体操 7 野球

イ 選手育成事業（22種目）

1 バレーボール 2 バトン 3 柔道 4 バスケットボール 5 バドミントン
6 スキー（アルペン） 7 空手道 8 卓球 9 スキー（クロスカンтриー） 10 アーチェリー
11 ソフトテニス 12 少林寺拳法 13 ゴルフ 14 ラグビー 15 剣道
16 スポーツチャンバラ 17 空道 18 太極拳 19 ソフトボール 20 弓道
21 ハンドボール 22 なぎなた

（3）既存施設を活用した選手育成システムの構築

長岡市市民体育館併設の器械体操専用練習場を活用して全国レベルのジュニア選手を多数輩出している“ジュニア体操クラブ”に対し、現役時代に世界で活躍した専門指導者を派遣し、継続的な選手育成システムの構築を進める。

（4）医科学サポート支援 **1,000千円（1,500千円）**

ドクター、トレーナー、管理栄養士等で組織する“長岡スポーツアスリートサポート機構”と連携し、市内高校優秀チームの選手、指導者及び保護者等を対象に、医科学・栄養講習のほか、チームサポート及び派遣指導等の支援を行う。

（5）長岡ゆかりのトップアスリートを輩出し続ける選手育成システムの構築

ア 幼少期から高校生期までの一貫指導体制整備の推進

幼少期は「普及・育成」、小・中学校生期は「育成・強化」、高校生期は「強化」といった一貫指導体制の整備を推進する。

イ 循環型選手・指導者育成システムの構築

スポーツの特性を活かした人づくり・まちづくりによる“元気な長岡”を創出するため、市内大学・企業と連携した選手の育成強化及び指導者の育成、並びにセカンドキャリア支援等を行う“循環型選手・指導者育成システム”の構築に向けた検討を行う。

- ・ 大学スポーツの推進 ⇒ 部活設置要請、活動支援（市内大学への働きかけ）
- ・ 企業スポーツの推進 ⇒ 選手・指導者の雇用要請（市内企業への働きかけ）

2 2020東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成 550千円(1,050千円)

※長岡市委託料 200千円、長岡市民スポーツ応援団 350千円

(1) スポーツ好きなこどもの育成 (少年スポーツ推進事業で経費執行) 0千円(750千円)

スポーツ好きで元気あふれるこどもを育てるため、スポーツ幼年団等を活用して心とからだの基礎づくりプログラムや自分に合ったスポーツ発見プログラムを実施する。

また、長岡市民スポーツ応援団と連携し、幼稚園・保育園の年長児から小学生を対象に、様々な種目が体験できる“ジュニアスポーツフェスタ”(こどもスポーツ百貨店)を開催する。(7月及び3月開催) ※少年スポーツ推進事業と併催

(2) 長岡ゆかりのトップアスリートとの交流等 200千円(300千円)

市民から長岡ゆかりのトップアスリートを身近に感じてもらうため、長岡市民スポーツ応援団と連携して激励会や活動報告会を開催し、市民との交流を図る。

また、スポーツ少年団等を対象に長岡産トップアスリートによるジュニアスポーツクリニックを開催する。 ※少年スポーツ推進事業と併催

※長岡地域定住自立圏スポーツ振興受託事業(スポーツ振興課)

(3) スポーツ新聞の発刊等 350千円(0千円)

長岡市民スポーツ応援団と連携して新聞折込特集版に長岡ゆかりのトップアスリート及びジュニア選手の活躍状況のほか、本市のスポーツへの取組等を掲載すること等により、広く市民に周知する。

(4) 事前合宿及び関連事業等への協力

2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたオーストラリア競泳チームの事前合宿や2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業等に対する協力を行う。

3 生涯スポーツの推進 19,892千円(21,641千円)

※長岡市委託料 6,282千円、長岡市補助金 1,114千円

(1) 各種スポーツ教室・クラブ活動の推進 12,285千円(14,396千円)

市民の健康・体力づくりや運動・スポーツ活動を推進するため、主要体育館(市民、北部、南部体育館)・アオーレ長岡及び地域体育館(和島体育館)等を活用して、幼児から高齢者までが気軽に楽しく参加できる教室やクラブ活動を開催する。

また、市民ニーズに応じるため、コミュニティセンターを活用した“地域マスターズ教室”や主要体育館での“休日ひよこ教室”を新規開設するとともに、主要体育館指定管理者との新規教室の共同開催等により、さらなる参加者の増加を図る。



(2) コミュニティスポーツクラブの育成支援 **3,157千円(3,187千円)**

エリアアドバイザー1名を配置して、コミュニティセンター、地区スポーツ協会及び総合型地域スポーツクラブ等と連携して、幼児から高齢者までが生涯を通してレベルやニーズに応じた多種多様なスポーツ活動に親しむことができる環境づくりを推進する。

<活動中の総合型地域スポーツクラブ等>

- ・長岡蒼柴スポーツクラブ(長岡高専)
- ・(一社)長岡かわぐちスポーツクラブ(川口)
- ・Y-GETS(山古志)
- ・てらスポ!(寺泊)
- ・(一社)キラスポ!みしま(三島)
- ・スポワこしじ(越路)

(3) 各種大会の開催 **1,530千円(1,783千円)**

- 市民スポーツ祭(27種目) **985千円(1,166千円)**
- 長岡まつり共催スポーツ大会(8種目) **375千円(418千円)**
- 早起き野球大会、ナイターソフトボール大会 **170千円(199千円)**
- 大規模大会誘致(全国、ブロック大会等の大規模大会)

(4) 専門指導者の派遣等

ア スポーツ・レクリエーションリーダーの派遣

地域や職域で行われるスポーツ・レクリエーション行事やPTA活動等に専門指導者を派遣する。

イ スポーツイベントの企画・運営

地域、職域、PTA活動からの要請により、スポーツ・レクリエーション行事等の企画・運営を行う。

(5) 健康・体力づくり運動講座の開催 **2,920千円(2,275千円)**

地域での運動習慣の定着を図るため、自宅でも継続してできる運動メニュー等を盛り込んだプログラムの講座を開催する。

※長岡市受託事業(健康課)

<8地域で開催>(1地域につき10回程度開催)

中之島、越路、三島、山古志、小国、寺泊、栃尾、川口(新規)

4 少年スポーツの推進 **11,050千円(10,080千円)**

※長岡市委託金 4,873千円、長岡市補助金 608千円、

※新潟県スポーツ協会委託金 389千円

(1) こどもスポーツチャレンジの推進(旧 夢づくりスポーツ) **720千円(836千円)**

こどもたちがスポーツに興味や関心を持ってチャレンジできる機会を充実させるため、競技団体と連携して、小・中学生を対象とした各種種目の初心者・未経験者向けの「入門体験プログラム」や経験者向けの「アカデミープログラム」を開催し、その後のスポーツ少年団やジュニアクラブ、部活動につなげる等、こどもたちのスポーツ環境づくりを進める。

(2) スポーツ少年団の育成

1,669千円(1,924千円)

ア 交流大会の開催

1,356千円(1,456千円)

○ 市内交流大会

538千円(502千円)

- ・軟式野球、サッカー・フットサル、ミニバスケットボール、剣道、バレーボール
- ・一般交流大会(川東地区及び川西地区で開催)【新規】
※長岡元気ッズプログラムを活用したスポーツ交流会



○ 中越地区・新潟県交流大会の運営

818千円(954千円)

- ・中越地区交流大会 軟式野球、サッカー、柔道
- ・新潟県交流大会 サッカー、ミニバスケットボール、バレーボール

イ リーダーの育成

253千円(408千円)

スポーツ少年団活動に取り組みながら団員のまとめ役や指導者の補助的役割を担う等、将来の指導者育成を視野に入れたリーダーを育成する。

○ 派遣助成

126千円(126千円)

日本スポーツ少年団及び新潟県スポーツ少年団が主催するリーダースクールに派遣し、その参加料を助成する。

○ 長岡ジュニアリーダースクールの開催(こどもスポーツ未来塾を改称)

127千円(282千円)

自ら考えてスポーツ活動に取り組める自立したプレイヤーを目指し、スポーツ少年団の中心となる“こどもスポーツリーダー”を養成するため、長岡ジュニアリーダースクールを開催する。 ※長岡地域定住自立圏スポーツ振興受託事業(スポーツ振興課)

ウ 指導者の養成等

指導者相互の情報交換及び資質向上等を図るため、各種研修会等を開催する。

また、「NAGAOKA SPORT Compass=羅針盤」を積極的に活用し、こどもの発育発達に応じた効果的な指導方法やスポーツマンシップの普及、ガバナンス・コンプライアンスの徹底を図る。

○ 長岡市スポーツ少年団指導者・育成母集団研究協議会(単位団代表者会議)の開催

「望ましいスポーツ少年団活動について(仮称)」の基調講演・事例発表(5月)

○ 長岡市スポーツ少年団指導者研修会の開催

「こどもの発育発達に応じたトレーニング・運動遊び指導法について(仮称)」

※長岡元気ッズプログラムを活用したスポーツ交流会と併催(2回)

「NAGAOKA SPORT Compass=羅針盤・ガバナンス・コンプライアンス」(10月)

○ 「種目別スポーツ指導者会(当該スポーツ種目の推進組織)」の設置促進

※スポーツ少年団、競技団体、学校部活等関係者による組織

○ スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会の開催(11月)

エ 長岡市スポーツ少年団事務局の運営

60千円(60千円)

スポーツ少年団及びジュニアスポーツクラブの紹介、募集チラシの配布、スポーツ少年団登録及び交流大会等の業務を行う。

(3) キッズアスリートチャレンジの開催

100千円(0千円)

スポーツ幼年団のほか、新たにスポーツ少年団を加えて、心とからだの基礎づくりプログラムや自分に合ったスポーツ発見プログラムを実施する。

※2020 東京オリンピック・パラリンピック機運醸成事業と併催

※長岡地域定住自立圏スポーツ振興受託事業(スポーツ振興課)

(4) ジュニアスポーツフェスタ(こどもスポーツ百貨店)の開催

949千円(450千円)

スポーツ好きで元気なこどもを育てるため、長岡市民スポーツ応援団と連携し、幼稚園・保育園の年長児から小学生を対象に、様々な種目が体験できる“ジュニアスポーツフェスタ”(こどもスポーツ百貨店)を開催する。(7月及び3月開催)

※2020 東京オリンピック・パラリンピック機運醸成事業と併催

※長岡地域定住自立圏スポーツ振興受託事業(スポーツ振興課)

(5) ジュニアスポーツクリニックの開催

1,959千円(2,460千円)

小・中学生のジュニア選手に夢を与え、選手の競技力と指導者の資質向上を図るため、特別指導者やトップアスリートを招へいし、選手及び指導者を対象としたジュニアスポーツクリニックを開催する。※2020 東京オリンピック・パラリンピック機運醸成事業と併催

※長岡地域定住自立圏スポーツ振興受託事業(スポーツ振興課)

(6) ふれあいスポーツアシスタントの派遣

825千円(525千円)

小学校の体育授業等に指導者を派遣し、種目を限定した内容(陸上、器械運動、表現運動、水泳等)や“コーディネーショントレーニング”を取り入れた多様な動きづくり・運動遊び等を行うことにより、こどもたちの運動・スポーツ能力の向上に努める。

※長岡市受託事業(学校教育課)

※長岡地域定住自立圏スポーツ振興受託事業(スポーツ振興課)

<コーディネーショントレーニング>

脳と身体の協応性を伸ばし、運動感覚を向上させて学ぶ力を引き出す脳神経系トレーニング



(7) スポーツ幼年団（こどもスポーツクラブ）の育成 4, 245千円（3,485千円）

コミュニティセンター等と連携して、小学生を対象にした放課後こどもスポーツクラブ（運動・スポーツ教室）の開設を進め、“ながおか元気ツズプログラム”による運動能力の向上や様々な種目のスポーツ体験を行うスポーツ幼年団を育成する。

（新規開設3小学校区を含め、市内28小学校区で実施）

※長岡地域定住自立圏スポーツ振興受託事業（スポーツ振興課）

<ながおか元気ツズプログラム>

コーディネーショントレーニング（脳と身体の協応性を伸ばし、運動感覚を向上させて学ぶ力を引き出す脳神経系トレーニング）やキッズアスリートチャレンジ（心とからだの基礎づくりプログラムや自分に合ったスポーツ発見プログラム）等を取り入れた運動



(8) 幼児運動遊び教室の開催

255千円（273千円）

保育園等での運動遊びに親しめる機会を提供し、幼児期から成長段階に応じた運動を行って運動能力や体力の向上、運動習慣の定着を図り、幼児期のスポーツ環境づくりを推進する。（年中・年長児を対象に、4～5保育園でモデル実施）

※長岡地域定住自立圏スポーツ振興受託事業（スポーツ振興課）



(9) 少年期における安心・安全なスポーツ活動の推進

328千円（127千円）

ア 長岡市少年スポーツ活動ガイドライン「NAGAOKA SPORT Compass=羅針盤」の普及・浸透
スポーツ少年団等新規加入者に冊子を配布するとともに、本協会主催の各種研修会（指導者、保護者、ジュニアリーダー向け）やスポーツシンポジウム等で活用する。
また、関係者に対するガイドライン活用（「目指す姿」重点項目の設定）の周知及び徹底について加盟団体に要請する。

イ 推進体制の整備

長岡市少年スポーツ活動ガイドライン「NAGAOKA SPORT Compass=羅針盤」の普及・浸透を推進するための研修や活動プランの企画立案、スポーツ活動中のハラスメント相談対応方策の検討等を行うための臨時的組織として、競技団体代表、スポーツ少年団代表、地域スポーツ団体代表及び有識者（執筆制作協力者、学体連、弁護士等）で

構成する“推進プロジェクトチーム”を設置し、種目別少年スポーツ指導者会等と連携した推進体制を整備する。

ウ ハラスメント等相談窓口の運営

相談窓口を設置し、事実確認調査や改善指導等を可能な範囲で行う。また、必要に応じて弁護士等への橋渡しを行う。

(10) 地域部活動と連動したジュニアスポーツ活動の環境整備（新規）

令和5年度から休日の学校部活動が地域に段階的に移行（学校部活動から地域部活動に転換）されることと連動して、学校、地域、地区スポーツ協会及び競技団体、総合型地域スポーツクラブ等と協働で、地域ジュニアスポーツ活動の環境整備を進める。

部活動改革に向けた動き

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
国	通知	実践研究	実践研究	地域部活動 段階的開始
新潟県	部活動改革検討委員会 11/20, 2/12	実践研究(モデル事業)	実践研究(モデル事業)	
長岡市	市検討準備委員会 2/22	◆1 検討委員会 ◆2 ワーキング部会 ◆3 部門部会	◇4 中学校区部会 (◇運営会議)	

(11) 米百俵未来塾の開催 ※(公財)長岡市米百俵財団で経費を執行

(公財)長岡米百俵財団が開講する「米百俵未来塾」(小学4年生～中学3年生、50名程度の塾生を募集)の選択講座のひとつとして“スポーツから学ぶ”講座を開催する。

- ・期 日(予定) 令和3年10月上旬
- ・場 所(予定) 長岡市教育センター
- ・講 師(予定) 本橋 麻里 氏
(カーリング女子 平昌オリンピック銅メダリスト)
(ロコ・ソラーレ ゼネラルマネージャー)

5 指導者及び団体の育成支援 16,921千円(18,781円)

※長岡市委託料 932千円、長岡市補助金 12,779千円

(1) 指導者の養成 2,012千円(2,769千円)

各種講習、研修や助成事業を通して多様なニーズ・役割に応じて適切な指導ができるスポーツ指導者の養成と指導力向上に努める。

ア 競技団体が行う研修会・講習会の開催及び派遣への助成 1,080千円(1,370千円)

- ・1回の開催につき、30,000円以内
- ・1回の派遣につき、30,000円以内

イ 研修会・講習会の開催

932千円(1,399千円)

※長岡地域定住自立圏スポーツ振興受託事業(スポーツ振興課)

- ・スポーツ基礎講習会
運動・スポーツ指導にかかわる全指導者共通の基礎を学ぶ。(6月開催)
- ・こども体力・運動能力向上地域リーダー養成講座
コーディネーショントレーニング等による親子、幼児、児童向けの指導実践方法を学ぶ。(7月～8月開催)
- ・スポーツ指導者研修会
指導者の資質の向上と他指導者との情報交換等を行う。(10月～1月開催)
- ・スポーツシンポジウム
基調講演及び事例発表等を行う。(12月開催)

(2) 各種指導者組織への支援

200千円(460千円)

各競技団体の縦横断的指導者組織及び種目横断的組織等への支援を行う。

ア 各種指導者組織等への支援

100千円(310千円)

- ・種目別少年スポーツ指導者会
各競技団体における少年期(小・中・高)の普及から強化のための年代別指導者の縦横断組織
- ・長岡市健康・体力づくり指導者会
健康・フィットネス運動等の指導者組織
- ・長岡スポーツアスリートサポート機構
ドクター、トレーナー、管理栄養士等の専門家組織

イ 種目横断的推進組織への支援

100千円(150千円)

種目や種別等の枠を超えて組織され、本市におけるスポーツの普及や指導者の育成等を行う団体に支援を行う。

※長岡野球協議会(通称:NaBC)への支援

市内の野球関係団体が相互の理解を深めるとともに連携を図ることにより、野球界の普及振興と発展及び競技力の向上を図り、また、野球を通じて健全な青少年の育成をめざすために組織されたもの。

<構成団体>

長岡硬式野球協会、長岡市野球連盟、長岡市中学校体育連盟(軟式野球)、新潟県高等学校野球連盟(長岡市内)、長岡市スポーツ少年団(学童野球)、

(3) 加盟団体への育成支援

14,709千円(15,552千円)

本協会加盟団体の事業運営等に対して必要な助成を行う。

- ・種目別団体助成 510千円(510千円)
- ・地区スポーツ協会運営助成 8,289千円(8,545千円)
- ・小学校・中学校体育連盟運営助成 4,490千円(4,980千円)
- ・加盟団体パート雇用助成 723千円(789千円)
- ・賛助会費募集事業割戻交付金等 697千円(728千円)

6 「スポーツによるまちづくり協定」関連事業の推進

多世代にわたる健康増進やジュニア選手の育成支援等のさらなる充実を目指し、協定締結団体間の連携強化とそれぞれが有する人的・物的資源を有効に活用した取組を進める。

※バスケットによる市民協働のまちづくり包括連携協定（平成28年9月13日締結）

締結者：(株)新潟プロバスケットボール、長岡地区 NIIGATA ALBIREX 後援会
長岡市、(公財)長岡市スポーツ協会

連携事業：ジュニアスポーツフェスタ、全国高校総合体育大会バスケットボール男子競技大会（長岡市開催）

※スポーツによるまちづくりの推進に関する協定（令和元年10月8日締結）

締結者：ヨネックス(株)、長岡市、(公財)長岡市スポーツ協会

連携事業：ジュニアスポーツフェスタ、長岡市中学生スポーツ活動推進モデル事業（バドミントン、ソフトテニス）

7 広報及び啓発

2,450千円(2,831千円)

※長岡市補助金 50千円

(1) 会報の発刊、情報提供等

2,400千円(2,431千円)

刊行物の発刊による広報のほか、SNSの積極的な活用等により情報提供を行う。

- ・SPORTながおか、スポーツながおかダイジェストの発刊
- ・ホームページ、LINE（ライン）による各種情報の発信

(2) 少年スポーツクラブの紹介等

50千円(400千円)

スポーツ少年団及びジュニアスポーツクラブの紹介をホームページで行うとともに、入団（入会）の募集チラシを市内小学校全児童に配布する。

8 スポーツ功労者等の表彰

1,750千円(2,250千円)

本市のスポーツ振興に特に功績顕著な者や団体の業績を称えて表彰を行う。

区 分	内 容
スポーツ功労者賞	長年にわたり、本市のスポーツ振興に尽力した者
優秀指導者特別賞	指導者として競技者を特別賞に該当する成績に導いた者
優 秀 指 導 者 賞	指導者として優秀競技者の発掘・育成に貢献した者
特 別 賞	オリンピック・パラリンピック、世界選手権大会等に出場、または国体・全国大会で優勝した者
最 優 秀 選 手 賞	国体・全国大会で優秀な成績をおさめた者、または日本代表選抜等 に選出された者
優 秀 選 手 賞	国体・全国大会に出場、または予選会で優秀な成績をおさめた者
奨 励 賞	全国大会、ブロック大会、県大会で優秀な成績をおさめた小学生 生涯スポーツ等の推進を目的とした全国大会等で優秀な成績を おさめた者

Ⅱ 収益事業

() は前年度予算額

1 自動販売機の設置 **2,455千円 (3,030千円)**

市民体育館・南部体育館、北部体育館・みしま体育館・希望が丘テニス場・希望が丘プール・ニュータウン運動公園に自動販売機を設置し、その売上げの一部を収益とする。

区 分	予 算 額
収 入 (自動販売機設置手数料収入)	3,500千円
支 出 (行政財産の目的外使用料)	186千円
(光熱水費)	859千円
差 引 (純 利 益)	2,455千円

2 Tシャツ・ポロシャツの販売 **350千円 (350千円)**

当協会オリジナルのTシャツ・ポロシャツを販売し、その売上の一部を収益とする。

区 分	予 算 額
収 入 (販売収入)	2,000千円
支 出 (Tシャツ・ポロシャツ作成代)	1,650千円
差 引 (純 利 益)	350千円